

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年6月14日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部政治学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年5月3日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ノースイースタン大学(日本語名) Northeastern University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2023年8月～2024年5月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☐ 公立 ☒ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月～12 月 2 学期: 1 月～4 月 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	19940
創立年	1898

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (\$)	日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	\$ 5640(一学期 で)	874,200 (一学期) 円	学内の寮に住みましたが、一学年間で寮費は約200万ほどかかりました
食費	\$ 2600(一学期 で)	403,000 (一学期) 円	この食費はダイニングホール(ミールプラン)の費用ですが、学内の寮に住む場合は全員必ず入らなければいけないプランです。1学年間でミールプランは約80万円かかりました。
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	(☐ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		105,000円	形態:
渡航旅費	\$ 2000(片道)	円	
ビザ申請費	\$ 220	33000円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:東京 目的地:ボストン 経由地:なし

復路 出発地:ボストン 目的地:東京 経由地:なし

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社:JAL 料金:320,000円

復路 航空会社:JAL 料金:300,000円 ∴合計:620,000円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名:)☒ インターネット(サイト名:)☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

☒ 学生寮(寮の名前:International Village) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 4)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

学校からランダムに割り当てられた

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

学内の寮に住めるかどうか決定するのは6月から7月上旬と非常に遅かったです。幸い学内の寮を割り当てられたので良かったです。学外だとアパートなどを探さないといけないので早めからもし学内の寮に当たらなかった場合の住居を探すと良いと思います。また、学内の寮はキッチンがないため、全員強制的にミールプランに加入しなければいけません。このミールプランが最低でも一学期に40万円ほどかかるため、寮費とは別にミールプランがあることを念頭に置いたほうが良いかと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: Mass General Brigham Urgent Care (Brookline))

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

在ボストン日本国総領事館からのメールとノースイースタン大学内の警察からのメールで情報収集

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校の寮のインターネット接続は基本的にどこでも繋がりが良かった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

渡航してすぐに Bank of America で口座を開設して日本から送金をしてもらっていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

ボストンには日系スーパーや韓国スーパーもあるのでそこでほとんど日本食や身の回りのものは調達できます。洗濯を干す場所が寮内にないので、小物用のハンガーと寮内で履くスリッパ、トイレ・シャワー用のサンダル(ビーチサンダルなど)は現地で買うと高いので日本で100均などで購入していくと良いかなと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Communication Studies	
科目設置学部・研究科	COMM
履修期間	一学期間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に75分が3回
担当教授	Steve Graneli
授業内容	コミュニケーションという名前がついていますが、文化・ジェンダー・思想・哲学などの分野を幅広く扱います。特に、産業心理学のような組織やグループの円滑な構成要素やリーダーシップなどを学ぶことが多かった。他には文化や宗教が異なる人とのコミュニケーションの取り方や人が相手に魅力を持つ段階にはどのようなフェーズがあるかをコミュニケーションの理論を用いながら学びます。基本的には講義形式ですが、一学期間に2, 3 回ほどグループワークがありました。コミュニケーションというのはどのキャリアにつくにしても最も大事だと思いますが、日本ではない授業で、さらに現地の学生からも人気の授業だったので履修しましたが非常に興味深くてなりました。
試験・課題等	全部で14Chapters から構成されていて、4chapters か5chapters 進んだところで大きなテストが実施されるため、全 3 回大きなテストがありました。テストは80から100問を70分でとくため、かなりスピードが求められました。1Chapter50 ページほどあるので200ページ分の用語や理論の暗記が必要なため、毎回の授業をよく理解して、用語を地道に覚えていきました。毎回の授業で予習・復習は欠かせませんがそれとしっかり行っていれば問題なくテストに対応できます。 課題は個人でのエッセイやグループでのワークも多いので、クラスで友達を作りやすかったです。
感想を自由記入	Steve Graneli 教授の授業は主にコミュニケーション学部で開講されていて、学生に非常に人気の教授の一人なのでおすすめです。授業内にジョークなども盛り込んでくださり、75 分があっという間です。履修の段階でもし枠が余っていたらぜひ履修してみてください！

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Acting (Public Speaking)		
科目設置学部・研究科	Arts	
履修期間	1 学期間	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義と実践(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に100分が2回	
担当教授	Victor Talmadge	
授業内容	演技の理論や舞台用語などのレクチャーもありながら、実際にモノローグやグループで演技をクラスの前で行う。Public Speaking という授業の一環で開講されているので、人前で話したり、プレゼンをする能力が鍛えられる。	
試験・課題等	中間テストは 1 分以上にモノローグを暗唱し、クラスで一人ずつ発表。期末テストは 3 人のグループで一人一役任せ、10 分ほどの演技を行いクラスの前で発表。課題はエッセイもあり。	
感想を自由記入	このクラスは 15 人のクラスで友達からすすめられて履修した。英語での演技というのは興味があったものの、セリフを覚えられるかなど不安だったが、教授がとても良い方で演技はもちろんこの演技のクラスでの実践が他のキャリアでもどう通ずるかも教えて下さり、とてもためになった。Acting という授業ですが、Public Speaking の一環としても開講されている授業のため、人前でプレゼンや発表、話をするときのポイントなども学べた。特に現地の学生は大勢の人前でのプレゼンや話し方がとても上手なので、クラスメートから学ぶことも多かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Visual Communication		
科目設置学部・研究科	COMM	
履修期間	一学期間	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に75分が3回	
担当教授	Katie Bruner	
授業内容	人間は視覚からどのような効果を得ているか。ジェンダーや政治学的な観点からコミュニケーションやビジュアルを評価する。少人数のクラスで毎回多くの発言が求められる。アメリカの歴史なども学べるので、幅広く様々な分野を学べる。	
試験・課題等	毎回エッセイが 2 本課される。試験は中間と期末の二回で記述式でよく理解をしていないと難しい。現地の学生も難しいと言っていたので、かなり勉強する必要がある。また、毎回の授業で予習で読んできた課題のリーディングに関してクラスでディスカッションを行うが、このリーディングが抽象的な内容が多いものが多く、これも難しいと評判だった。毎回平均して 50 ページほどのリーディングが週に 3 回のため、かなりリーディングの比重が大きい。このリーディングの内容を理解していないと全く授業やディスカッションについていけないため、予習に最も時間がかかった。	
感想を自由記入	現地の学生からも課題(特にリーディング)が重く、難しいと評判だった。しかし、政治やジェンダー、歴史の観点から効果的なビジュアルを評価するというのはとても面白く、大変ではあったがとても役に立った。また、リーディングは大変だったが、このクラスのリーディングで鍛えられたおかげでいろいろな分野の専門用語を学ぶことができ、またスキミングの能力もみについた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Photo Tools		
科目設置学部・研究科	Arts	
履修期間	2 学期目	
単位数	1	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に100分が1回	
担当教授	Matt Williams	
授業内容	Intro to Photo の履修要件であったため、履修。Photoshopや Adobe を使いながら高度な編集を学ぶ。(背景の一部を変更したり、肌の修正など)	
試験・課題等	毎週課題が一つ提示され、編集して提出。	
感想を自由記入		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Academic Writing		
科目設置学部・研究科	ENG	
履修期間	2 学期目	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に100分が2回	
担当教授	Julia Garrett	
授業内容	Academic なエッセイの書き方を学ぶ。授業でリーディングを行い、それに関するエッセイを書く。全部で 4 回ほど大きなエッセイを提出。	
試験・課題等	試験はなしだが、大きなエッセイを 4 回提出する必要があるため、常にエッセイの課題がある。また、エッセイを書くためのリーディングの課題もあるので課題は多め。	
感想を自由記入	エッセイの書き方がはじめてのころより上手くなったと感じる。特に 4 回のエッセイ提出は非常に教授からのチェックが厳しかったため、上達できる。フィードバックが細かく、疑問点をなんでも教授が解消してくださり、とても有難かった。また、自分が書いたエッセイを授業内で回して他のクラスメートからフィードバックを貰うということもするので他の人から学べることも多かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Foundations of Psychology		
科目設置学部・研究科	PSYC	
履修期間	2 学期目	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に100分が2回	
担当教授	Josh Uhalt	
授業内容	心理学全般を広く学ぶ。具体的には、精神障害、睡眠と心理の関係、認知科学、人格形成、セラピーなどを学ぶ。講義形式だが、先生と生徒の Interactive なやり取りで授業が進む。グループワークもあり。	
試験・課題等	毎回の授業で小テストあり。毎週、記述形式での課題もあり。大きなテストは 4 チャプター毎に一回行われる。また学期の最後にグループでのプロジェクトもある。	
感想を自由記入	課題や予習は多いが、心理学を学んでみたかったのでとても興味深かった。毎回の予習復習をしていれば良い成績も取れる。教授もとても親切なので、楽しく授業を履修できた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Photography	
科目設置学部・研究科	
履修期間	2 学期目
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に210 分が1 回
担当教授	Tony Luong
授業内容	毎回テーマを与えられ、それに合わせた写真を100枚以上撮影し、ベスト 5 枚ほどを授業に持ってくる。各々が撮影してきた写真をクラス全員で批評する。
試験・課題等	毎回お題に沿った写真を100枚以上撮影。期末課題あり。
感想を自由記入	週に1 回の授業のため、朝 8 時から11時 30 分と 210 分の授業で心配だったが、教授が本当に面白く、クラスも 15 人ほどしかいないのでとても仲が良く、毎回楽しみな授業だった。写真を批評するという経験は初めてだったが、一人一人個性や考え方、アイデアが異なり、興味深かった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)
☒ 就職 ☐ 進学 ☐ 未定 ☐ その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。 就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	学内選考
留学開始年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	結果、ビザ、航空券、予防接種、滞在先の確保
	8 月 ~ 9 月	渡航、一学期目開始
	10 月 ~ 12 月	10 月末中間試験、12 月中旬に期末
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	2 学期目開始
	4 月 ~ 7 月	4 月末に期末試験、5 月に帰国
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

ノースイースタン大学は他の留学先に比べて、英語の要件が少し高いかと思いますが、勉強や課外活動に一生懸命な学生と素敵な教授に囲まれて充実した留学生活を送ることができます。留学を決意したきっかけは人それぞれだと思いますが、留学で必ず達成したいゴールを強く持って渡航することが大事だと思います。単純に留学に行くことをゴールにしてしまうと自分の留学先での行動に一貫性がなく、物事を決定するときにも揺らいだり、挑戦することをためらってしまうと思うので、留学先で何を成し遂げたいのかを強く持つことで、充実した生活を送ることができると思います！私は留学するときにノースイースタン大学で必ず成し遂げたいことがあり、出願したのですが、学生、教授、学問、施設、課外活動などすべて点で満足しており、ノースイースタンで学ぶことができ非常に良い経験になりました。英語の勉強を頑張ってノースイースタン大学での留学生生活をぜひ実りのあるものにして下さい！応援しています！